

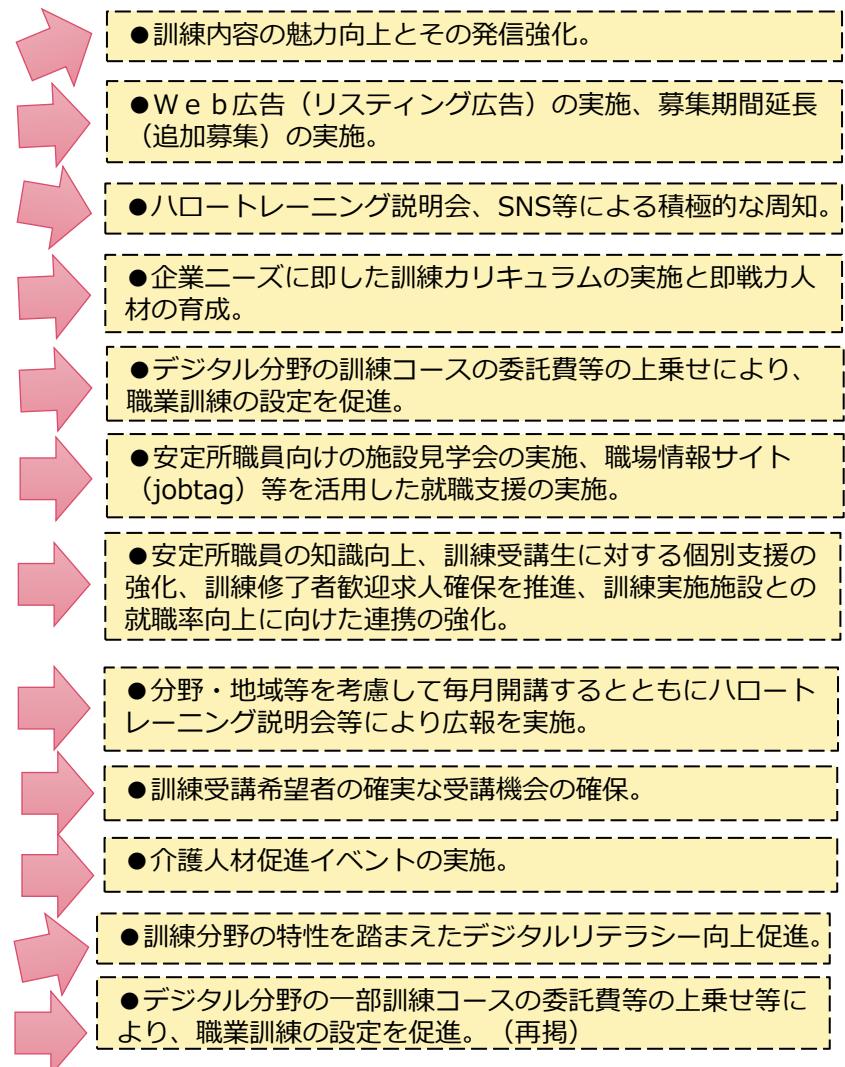
令和8年度埼玉県職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

令和7年度計画の実施方針と取組状況

令和7年度実施計画（実施方針）

課題	実施方針
①応募倍率が低く、就職率が高い分野がある。 「介護・医療・福祉分野」「金属加工・溶接」	A 訓練コースの内容や効果を踏まえた受講勧奨の強化が必要。Dの措置も併せて実施。
②応募倍率が高く、就職率が低い分野がある。 「IT分野」「デザイン分野」	B 求人ニーズに即した効果的な訓練内容であるかどうかの検討を行う。 C 就職率向上のため、受講希望者のニーズに沿った適切な訓練を勧奨できるよう、ハローワーク訓練窓口職員の知識の向上や、事前説明会・見学会の機会確保を図る。 また、訓練修了者の就職機会の拡大に資するよう、訓練修了者歓迎求人等の確保を推進するなどの取組推進が必要。
③委託訓練の計画数と実績が乖離している。	D 受講申込締切日から受講開始日までの期間の短縮、効果的な周知広報等、受講者数増加に向けた取組が必要。 E 就職率に加えて、訓練関連職種に就職した場合の待遇といった観点も踏まえた求職者の希望に応じた受講あっせんを強化。
④デジタル人材が質・量とも不足。	F デジタル分野への重点化を進め、一層の設定促進が必要。

令和7年度取組状況



令和8年度埼玉県職業訓練実施計画の策定に向けた方針（案）

令和7年度計画に挙げた課題と令和6年度の実施状況

評価・分析

令和8年度の公的職業訓練の実施方針（案）

応募倍率が低く、就職率が高い分野

介護・医療・福祉分野

【委託訓練】（介護分野）
応募倍率が低下し58.3%。
就職率85.3%で横ばい。

応募倍率が高く、就職率が低い分野

IT分野・デザイン分野

- 【委託訓練】
- ・IT分野：応募倍率、就職率ともに低下。
 - ・デザイン分野：応募倍率は低下、就職率は横ばい。
- 【求職者支援訓練】
- ・IT分野：応募倍率が低下、就職率は向上。
 - ・デザイン分野：応募倍率・就職率ともに低下。

委託訓練の計画数と実績に乖離あり。
令和6年度も同様の傾向。

デジタル人材が質・量とも不足が課題。

応募倍率	約60%であり、応募倍率の上昇に向け、引き続き改善の余地がある。【A】
就職率	依然、高水準で推移。

応募倍率	全体的に高応募倍率が解消・改善傾向。
就職率	IT分野における求職者支援訓練は大幅に改善したが、一部の講座が比較的低調であり、引き続き改善の余地がある。【B】 【C】

E 受講者数の実績等を踏まえ、必要な訓練規模を確保しつつ、計画数の見直しを図る。

F 引き続き、開催時期の柔軟化、受講申込締切日から受講開始日までの期間の短縮、効果的な周知広報等、受講者数増加に向けた取組が必要。

G 引き続き、デジタル分野への重点化を進め、一層の設定促進が必要。

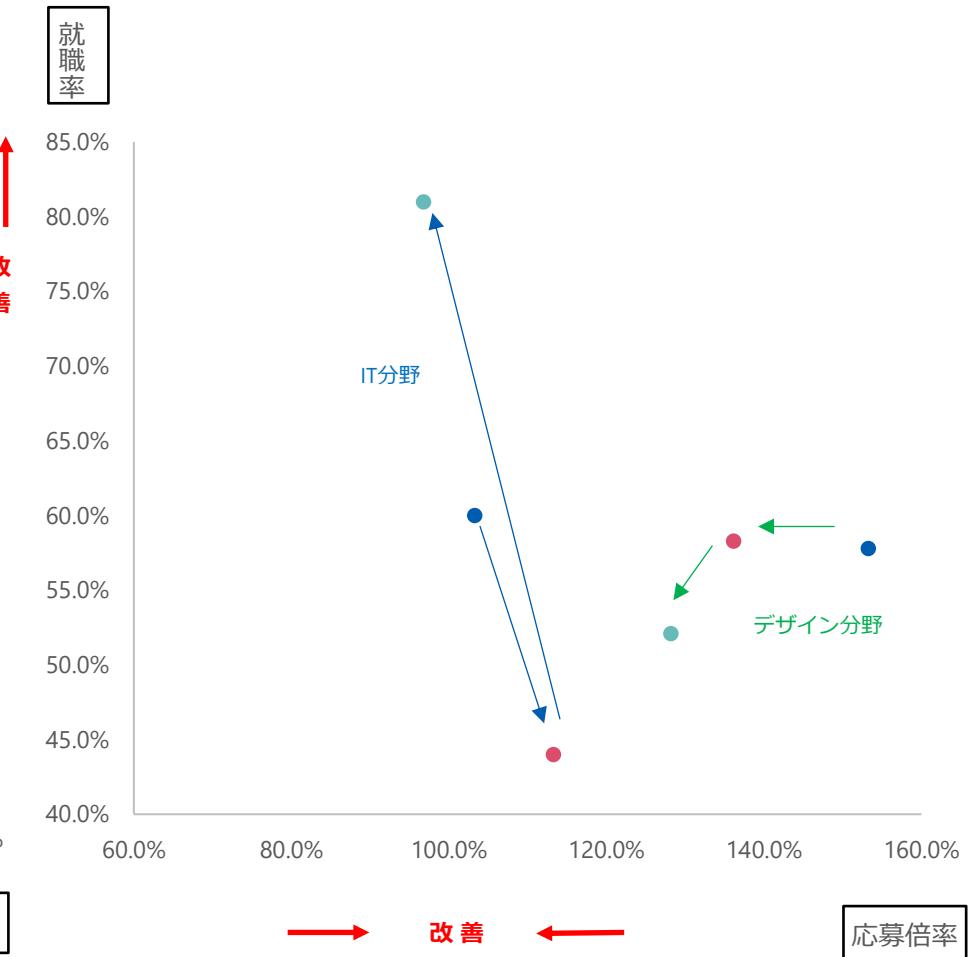
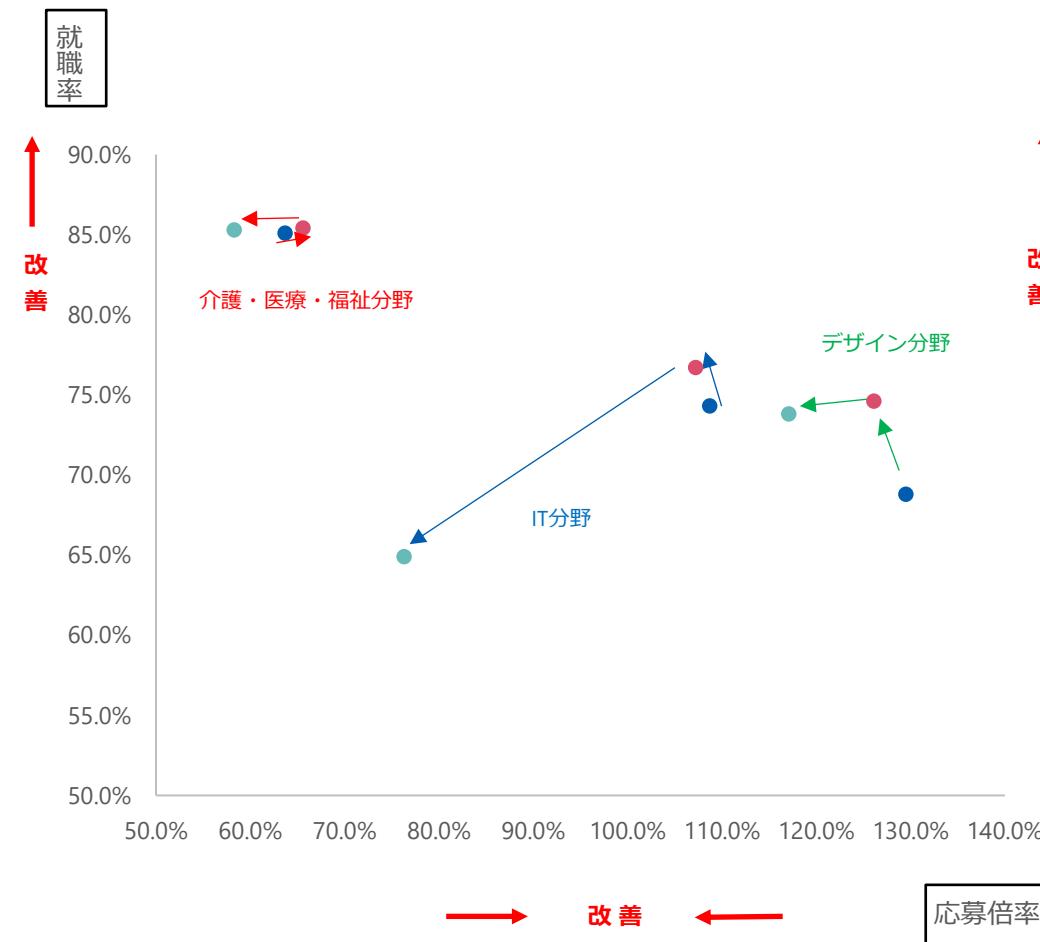
【参考】埼玉県内の委託訓練及び求職者支援訓練の応募倍率及び就職率の状況

● 令和4年度 ● 令和5年度 ● 令和6年度

● 令和4年度 ● 令和5年度 ● 令和6年度

【委託訓練】

【求職者支援訓練】



※用語の定義は、資料●-○と同様。